

1 題材 「Road to 5年生!

～これまでの自分を振り返り、なりたい自分に向かってすすもう～

(ア) 現在や将来に目標をもって生きる意欲や態度の育成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、素直で前向きに学習に取り組むことができる。また、友達同士の関わり合いもよい。学級会などでは、まだまだ自分たちでうまく進行することは難しいが、多数の意見を受け入れ、よいものにしようとして一生懸命考えている。

しかし、自分の意見を出しにくかったり、自信のないことには挑戦しなかったりする児童もいる。

そこで、朝の会や空き時間など児童の明るい話が聞ける場を設定し、話しやすい雰囲気を作ってきた。また、あらゆる学習の中で、少数派の意見を取り上げ、多様な意見があることの大切さに気づかせたり、グループ活動やペア活動などの話し合いを多く取り入れたりすることで、一人一人意見を出すようにしてきた。

そして、自分のよさ・可能性に気づかせ、自信を持たせるために、行事・学期ごとには振り返りシートを作成し、できるようになったことや頑張ったことを書き溜め、メタ認知ができるようにしてきた。そして、それらを友達と交流し、新たな自分の可能性を見いだしたり、自分の良を認めたりできるようにしてきた。さらに、保護者にもコメントを書いてもらい次への励みになるようにした。児童は、4年生になり自分に力が付いてきたことを感じていた。

今回の授業では、高学年になるという自覚を高め、「なりたい姿」を定め、自分の可能性を信じ「やりたい」ことを見つけてほしいと考える。そして、5年生に向けて充実した「今」を過ごしてほしい。

(2) 題材設定の理由

今回、「今の自分」のよさや可能性を客観的に見だし、「なりたい自分」を見定め「今の自分」が5年生になるまでに「やってみよう」ということを意思決定することにより、残りの4年生を充実させ、その先の将来に向けて希望や目標をもって生きようとする態度が育成されると考え、本題材を設定した。

これまでのポートフォリオには、「なりたい自分(姿)」を記入できる欄を作ってきた。学期や行事ごと自分ができるようになったことやがんばったことなどを振り返り、自分のよさを考えたり、友達から認めってもらったりしてきた。それらの資料や経験などをもとに自分の可能性にさらに気付いたり、友達と共有したりする時間を設けるようにする。そのことがその子の自信につながり、これからの励みになると考える。

また、小学校生活が見通せるように、国語科では、「6年生にアンケート」をとり、最高学年の生活を知ったり、6年生を調査してどんな活動を頑張っているかを見つけたりした。そうすることで、最高学年としてあるべき姿を感じさせたいと考えた。また、児童が自分たちの成長をまとめたいという意見が出たので、1年の振り返りを掲示するとともに、4年の修了する日までのカウントダウンを行うことで残り時間を意識して活動に移せるように取り組めるようにした。

そして、5年生に向けて残り少ない時間を大切に過ごし来年度の5年生の生活が素晴らしいものになるように「今からやってみよう」ということを児童たち自身の話し合いを通して意思決定できるようにしたい。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・理解	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生活するための課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】<評価方法>
<ul style="list-style-type: none"> ・生き方探究パスポートの記入 ・保護者の思いに目を向ける ・ポートフォリオの作成 ・国語「調べて話そう生活調査隊」 なりたい高学年の姿を描くために「6年生」を見つける 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分」になるために「考えたこと」「やったこと」「がんばったこと」等を生き方探究パスポート「わたし」に追記し、「あゆみ」に自らのよさ（努力）を認識できるように振り返りを記入する。 ・6月当初に保護者にアンケートの協力をしてもらい、親の思いを知れるようにする。 ・イワオリ（運動会）やイワフェス（学習発表会）等の学校行事ノート、日々の記録ノートに、その行事や取組を通して「なりたい姿」にむかって、自分が「やったこと」「がんばったこと」を記録し、自己評価及び他者評価を行い、自己実現の足跡を記録する。 ・なりたい6年生（高学年）とはどんな学年なのか、6年生に密着して、なりたい高学年の姿を具体化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分」になるために「考えたこと」「やったこと」「がんばったこと」等について、自らのよさ（努力）を加点点評価（キャリアの積み上げ）することができる。 ・親に支えられていること気づくことができる。 ・仲間のがんばりを応援し、他者理解による相互評価を行い、集団に受け入れられる実感を伴う自尊感情を高めることができるようにする。 ・「なりたい高学年」の姿を自分が6年生の行動から学ぶことができる。 (思考・判断・表現)【キャリア・パスポート、学校行事ノート、成長ノート等】

<p><事前の指導の基本姿勢></p> <p>◎生き方探究パスポート「あゆみ」の作成・記入については、6月に作成した「わたし」で考えた「なりたい自分」に対して「足りない部分」はどこかといった減点評価の振り返りではなく、児童自身がこれまでの様々な場面で成長したり、積み重ねたりしたことを、学校行事ノート、成長ノートを用いて加点評価の振り返りをおこない、実感・共感できるようにする。</p>
<p>◎ただし、「足りない部分」や「できなかったこと」の否定ではなく、「なりたい自分」の実現に向けて、「やってみたい」こととして挙げ、もう一度挑戦しようとする姿は、「できなかった」という減点評価の振り返りではなく、今の自分をさらに高めたい意欲の表れであるととらえることも大切。</p> <p>◎できなかったことを否定するのではなく、できなかったことから「学ぶ」ことが児童の自己肯定の視野を広げることにつながる。</p>

5 本時のねらい

「なりたい5年生（高学年）の自分」に向けて、これまでの4年生での取組を振り返り、自己の成長に気づき、高学年としてのなりたい自分の姿を考え、目標を決めて、その目標に向かって今日から取り組みたいことを考え、決める。

6 本時の展開

	児童の活動	○指導上の留意	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ ⑦	<ul style="list-style-type: none"> 理想(なりたい)の高学年とは、どんな姿(行動や考え方)をしていたかを共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 早く高学年になりたいとの思いを高められるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 6年調査隊(行動メモ) 学級だより・写真 めあて(HERO)カード 	<ul style="list-style-type: none"> ◎4年生で、たくさん成長した自分「だからこそ」、さらに成長して、なりたい高学年にむかいたいと思う ◎高学年のどこになぜ憧れるのかをさぐり、「高学年になったら…」の思いを強く抱く
5年生に向けて、残りの時間にやってみたいことを決めよう。				
展開 つかむ ②	<ul style="list-style-type: none"> 「つかむ」で共有した理想(なりたい)の高学年の姿に、残りの日数で近づく自信があるかアンケートに回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートを使って、アンケートを行い、学級児童の様子(意識)を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット ロイロノート 	

<p>展開</p> <p>②</p> <p>⑬</p>	<p>・4年生の学校生活の中で「なりたい自分」になるために「やったこと」や「がんばったこと」を想起し、自分たちの成長について共有する (自分が成長したと思うことについて振り返る)</p>	<p>・様々な資料から、学級や自分のこれまでの成長をつかむようにする</p>	<p>・生き方探究・パスポート、 ・ポートフォリオ ・行事ノート ・HERO 伝説ノート ・振り返りムービー ・教室掲示</p>	<p>◎具体的な場を振り返り、〇〇でこんなことをしたから成長したと思う</p>
<p>展開</p> <p>見つける</p> <p>⑬</p>	<p>・お互いの「よさ」を見つけていき、それを活かして、なりたい姿に向けて「今」やってみたいことについて話し合う</p>	<p>・やってみたいことだけでなく、なりたい自分に近づくための「課題」や「できていないこと」についても前向きに扱うようにする ・なりたい高学年に向けて、自分の「よさ」や「やってみたこと(挑戦したいこと・しようと思っていること)」を見つけ、感じ取り、共有できる場づくりをすすめる</p>	<p>・生き方探究・パスポート、 ・ポートフォリオ ・行事ノート</p>	<p>◎5年生直前となった「今」、なりたい自分に近づくために、これまでの自分の「あゆみ」の上に、さらに「やってみたいこと」を見つけていることができる (思考・判断・表現) 【生き方探究・パスポート、話し合い活動】</p>
<p>終末</p> <p>決める</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>・「見つける」で話し合った理想(なりたい)の高学年の姿に、残りの日数で近づく自信があるかアンケートに回答する。</p>	<p>・ロイロノートを使って、アンケートを行い、学級児童の様子(意識)を共有する。</p>	<p>・タブレット ・ロイロノート</p>	

<p>終末 ② ⑧</p>	<p>○話し合ったことを手がかりにしながら、「今」、なりたい自分になるために「やってみたい」「がんばりたい」「挑戦したいこと」について具体的に決める（自己目標の決定）</p>	<p>・できそうなことを選ぶのではなく、やってみたいことを具体的に考え、決める</p>	<p>・なりたい4年生になるためにやってみたいことをワークシート（リフレクションシート）に記入して、取組の準備をする。</p>	
-----------------------	---	---	---	--

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<p>○自分の決めた「やってみたい」「がんばりたい」「挑戦したいこと」を自分なりの方法で実践をする。</p> <p>○実践について自己の振り返りを加点式で行う。</p> <p>○仲間と実践を振り返り、互いの積み上げを確認し合う（他者評価）。</p>	<p>○「やってみたい」と思ったこと自体を「実践のスタート」として評価し、「できたか・できなかったか」の評価にならないようにする。</p> <p>○ワークシートに、実践を振り返る機会を設定し、「なりたい自分」にむけての自己の積み上げを記録する。</p> <p>○自己評価だけでなく、他者評価を取り入れて、互いのステップアップを確認し合い、「なりたい自分」になるための取組を継続していこうとする。</p> <p>○周囲の大人（保護者）の励ましと評価を得られるようにする。</p>	<p>○学級活動（3）で意思決定したことを評価した上で、目標（具体的な行動）の達成にむけて粘り強く取り組み、「なりたい自分」になるために「やってみたい」「がんばりたい」「挑戦したいこと」を適切に判断しながら、主体的に実践している。 （思考・判断・表現） 【観察・成長ノート等】</p>

8 板書計画

つかむ

めあて

Road to 5年生 → → →

5年生に向けて、残りの期間にやってみたいことを決めよう。

さぐる

イワオリで練習を頑張った。
イワフェスで大きな声を出せた
漢字の学習を努力した

自分のよさ(HERO)

見つける

話し合っ

伝えたいことをしっかりと
考えて話す
周りのことを考えていつも
前向きに行動する
低学年の話を丁寧に
聞き、優しく話す
※自分のよさを活かす

決める

自分で

今から、
自分からすすんで、
低学年に声をかけていきたい。

積極的に意見を言いたい。
・修了式までにイベントを企画したい

高学年の姿
・まとめる力
・低学年にやさしいト
・おもしろい

4年生 わたし

書いた日
年 月 日

名前

○今の自分について考えてみましょう。

とく意なこと・すきなこと・今、大切にしていること・もの

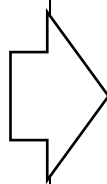
自分のよいところ

しょう来のゆめ(やってみたいこと・やってみたい仕事・こんな人になりたい)

○この1年間でがんばりたいこと、チャレンジしたいこと

こんな 4年生に なりたい

そのために することは



まわりの大人から

4年生 あゆみ

書いた日
年 月 日

名前

○今までの自分をふり返りましょう。

わすれられない！のこしておきたい！『出会った人・もの・できごと・本』

なりたい自分に近づいていますか？

ステップアップ

色をぬりましょう。



なりたい自分に向けて、どんなど力（思い・行動）をしてきたか書きましょう。



まわりの大人から

Road to 5年生 ~LAST HERO 伝説 最終章~

令和3年 3月5日



4年

◎5年生に向けて、残りの期間に「やってみたいこと」を宣言しよう。

なりたい姿

(

)



話し合いメモ (自分のストロングポイントを見つけよう)



HEROの証

よいところ・できるようになったこと・得意なこと・がんばったことなど
(自分のストロングポイントをさぐろう)



() な
高学年になるために、わたしは、
今から

Decide!



をやってみます!